

一

自分に合った身の回りのことから始めましょう。

ボランティア活動は、まずあいさつや、高齢者・身体の不自由な人に席をゆずることから始めましょう。

二

相手の求めていることに合わせて活動しましょう。

自分勝手な計画をたてたり、善意の名をかりて押し付けることはやめ、相手の立場に立って行動しましょう。

三

無理のない計画を立てましょう。

自分のグループの力量にあわせて無理のない計画を立て、細く長く自分の生活リズムに組み入れた活動にしましょう。



十

安全対策に充分配慮しましょう。

万一の事故に備えて安心して活動できるように活動場所の点検をしたり、事故が起こった場合の対応を学習することも必要です。ボランティア保険の加入をお勧めします。

九

まわりの理解と協力を得ておきましょう。

家族の理解と協力を得ておきましょう。また、職場、学校などで理解や関心をもってもらうことが、ボランティアの輪を広げることにつながります。



八

謙虚さも大切にしましょう。

善意というものは、押しつけになればかえってマイナスです。決して「してあげる」という発想ではなく、協力者であり援助者であるという立場で尋ねる姿勢、学ぶ姿勢が必要です。

七

宗教や政治活動とは区別しましょう。

自分の信仰している宗教や支持している政党などを活動の中で、相手に勧めたり強要してはいけません。信仰の自由、思想・信条の自由をお互に守り尊重しましょう。ボランティア活動は、人権尊重そのものであるという重い意味をかみしめましょう。

四

約束は守りましょう。

人と人との信頼関係によって成り立つものです。活動の場での約束は守り、責任ある行動をとりましょう。

五

秘密は守りましょう。

いろいろな人の悩みや問題の相談を受けることも多くあります。個人のプライバシーに関することは決して他言しないことです。秘密を守ることは活動における信頼関係を深めることに不可欠です。

六

たえず学習し、自分を成長させましょう。

いろいろな問題にぶつかります。活動の反省をし、評価を行い次の活動が効果的に行われるように備えることが望めます。そのためには、学習していかなければなりません。

ボランティア活動

知っておきたい心がまえ 十ヶ条